

近畿木材運輸常務 山口 与嗣雄(54)



大阪府トラック協会海上コンテナ部会の部会長に加え、阪神港海上コンテナ協会の会長も務めさせていただくことになった。活動の幅も広がり、積極的に動いた一年だったと思う。

4月に車両制限令違反に対する大口・多頻度割引の割引停止措置などが見直され、海コン輸送にも大きな影響が出た。中でも、定量積載で法令を順守しているにもかかわらず、阪神高速道路の自動軸重

動き止めず前へ進む

計での計測により、軸重オーバーを指摘される部会員が続出。管理事務所にも何度も足を運び、国土交通省にも陳情に出向いた。

阪神間の部会員や阪神港海コン協のメンバーの努力で、業界は少しずつ良い方へと動いていると思う。課題は多いがこれからも、業界を挙げた動きを止めずに、しっかりと前に進んでいかなければならない。

11月には、改正標準貨物自動車運送約款が施行された。ターミナルでの長時間待機は長年の懸案事項。運賃とは別に、料金として待機時間料が位置付けられ、荷主との交渉がまた一歩前進すると期待している。(大阪市住之江区)